

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス 太陽の子鶴ヶ谷		2026年 2月 28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		人員配置基準を守りながら、必要時は増員している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	3	動く遊びと静かな遊びとスペースを分けたり、視覚的にわかりやすいよう掲示を行っている。	個々に合わせて考えるとまだまだ工夫する部分はあると思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	3	毎日の清掃に加え、毎週1回清掃・整理整頓の日を設けている。	設備が古くなってきている箇所もあるため、修繕を行っていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	4		出勤日数が少ない職員も多く、業務改善の話合いに参加できないこともある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		評価表だけではなく、普段の保護者様とのやりとりからご意見をいただき、業務改善に努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		日々の打ち合わせやカンファレンス、職員会議等を設けている。また、普段の会話からも意見交換を行い、業務改善に努めている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		11		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		毎月1回以上、社内外の講師からの研修を実施している。	
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		個別支援計画を作成する前には、職員と個別支援計画に係る検討会を行って後、作成することとしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		個別支援計画に左記の必要項目の設定、具体的な支援内容の記載を行っている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11			

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		打合せを行い、活動内容や役割、注意事項等の共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	8	事業所に残っている職員で共有を行っている。翌日の打ち合わせの際に申し送りや振り返りを行っている。翌日休みの職員で共有事項がある際は記録を残すようにしている。	支援終了後は送迎に出ているため、全職員での振り返りは困難。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			記録はとっているが、より詳細に、また誰が読んでも理解できる記載方法を検討していく必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		毎月モニタリング報告書の作成を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	2	自由活動の内容を決める際には、ご利用者様と職員が“相談”をし、自己決定や話し合う力を育てよう努めている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		送迎の際に職員からも質問をし、情報が正しいか、漏れがないか確認をするようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	6		保護者様から就学前の情報を聞き取っているが、利用していた事業所と直接情報共有はしていなかった。就学前からの支援を継続できるように、今後情報共有の機会を作りたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	3	移行支援会議に参加し、これまでの支援内容を共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	8		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		11		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		11		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		11	イベントや研修の情報提供については、公式LINEや配布にて行っている。	一部の保護者様に対しては行っていたが、支援プログラムやご家族参加型の研修は行っていなかった。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		契約時、変更があれば変更時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		保護者様とは送迎時や面談時に意向確認を行っている。自分の気持ちを話せるお子様からは直接お話し、お子様の気持ちを第一に考えられるよう努めている。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		対面、公式LINE、電話等、様々な方法でご相談をお受付できるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		11		今後、保護者様やきょうだいが交流できる場を設けていきたいと思っている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11		毎週公式LINEにて活動報告を行っている。また、毎月「レクリエーションカレンダー」「太陽の子新聞」を発行し、情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		公式LINEや新聞に掲載する写真についても、保護者様からの同意を得て使用している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	3		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	2	ハロウィンイベントの際、同ビルの事業所様に参加していただき、交流の機会を作っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	3		周知はしているが、ご家族様を含めた訓練は行っていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	2	毎月様々な災害を想定しての避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		毎月1回以上、社内外講師の研修を行っている。	今後は、研修に加え訓練も行っていきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	5		周知の回数を増やし、保護者様の記憶に残るように努めたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		毎月の職員会議にてヒヤリハットを共有し、再発防止に向けた対応策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		年2回、虐待・身体拘束に関する研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11		契約時や面談時に説明を行い、個別支援計画書に記載している。		